

CASBEE® 新築[簡易版]

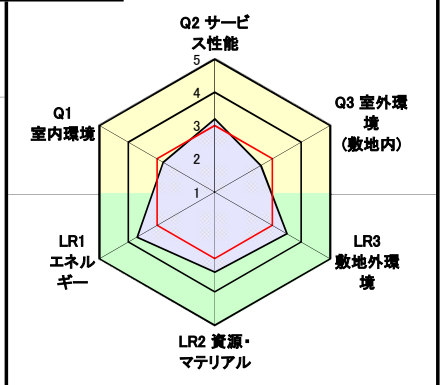
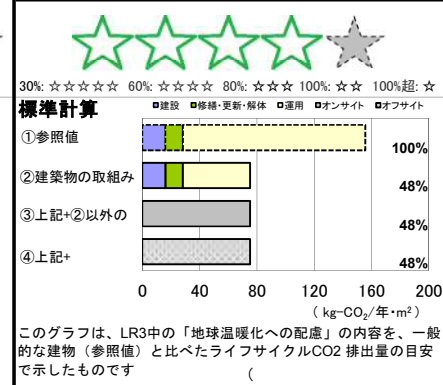
評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

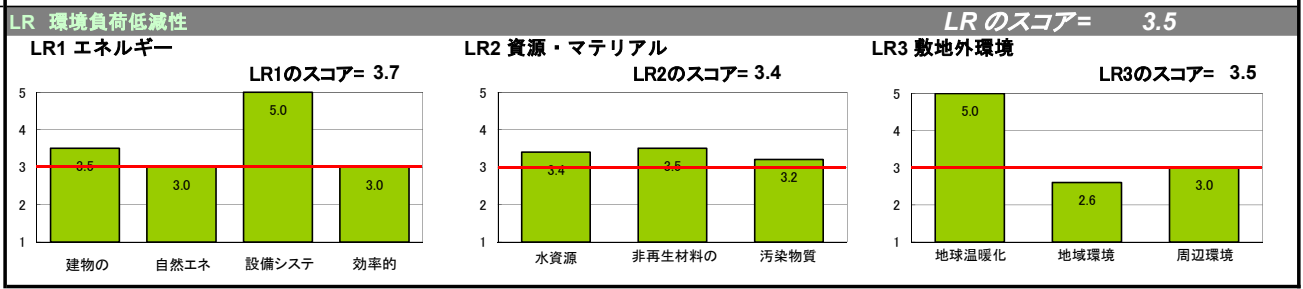
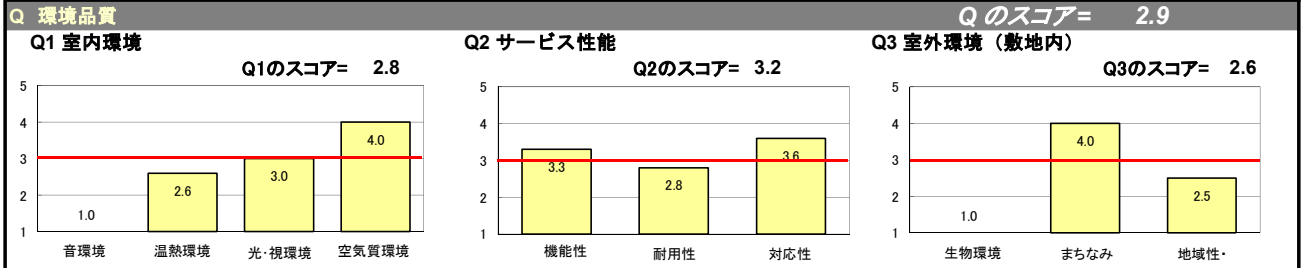
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンリブ西小倉A棟	階数	地上1F
建設地	福岡県北九州市小倉北区堅町2丁目2174番1外	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分		年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 予定	評価の実施日	2014年4月10日
敷地面積	12,566 m ²	作成者	河村晃
建築面積	5,200 m ²	確認日	2014年4月17日
延床面積	5,038 m ²	確認者	石川哲夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
周辺環境との調和をはかるため、建物配置、形状、色彩等を工夫した。また、防犯性を考慮し、前面道路からの視界を遮らない外構計画とした。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 前面道路からの騒音を防ぐため、道路からできるだけ離れた建物配置とした。	Q2 サービス性能 竣工後の改装、メンテナンスを考慮し、天井ふところを大きくした。
Q3 室外環境(敷地内) 周辺の景観に調和するよう、建物の外装等の色彩、形状、高さ等は、周辺への圧迫感を軽減するよう考慮した。	LR1 エネルギー 建物内外の熱の出入を抑制するため、外壁を断熱性能に優れるALC版とともに、屋根裏に断熱材(グラスウール)を設置。
LR2 資源・マテリアル 揮発性有機化合物の発生を抑制するため、F☆☆☆☆建材を全面使用とした。	LR3 敷地外環境 建物利用者の駐車場、駐輪場は、適切な量を確保した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される